

1 部会構成と活動内容

本部会は、県内3聾学校（青森聾学校・弘前聾学校・八戸聾学校）の教員及び寄宿舎指導員で構成されている。研究大会は、3校が輪番で行い、主管校が会場となる。研究大会では日々の教育実践をもとに、各学部の指定授業についての授業研究会や寄宿舎分科会・養護教諭分科会の情報交換会等を設けている。

2 令和7年度の研究大会について

今年度の研究大会は東北聾教育研究大会（青森大会）と併催した。『「よく考え主体的に学ぶための授業づくり」～新しい時代を豊かに生きていくために～』をテーマに、11月7日（金）に青森聾学校を会場に行われた。各学部の公開授業ならびに指定授業の他、各分科会において授業研究分科会、研究協議分科会、情報交換会を実施した。各分科会で活発な意見交換がなされ、それぞれの分科会では助言者からご助言をいただき、とても有意義な研究大会となった。

【各分科会及びテーマ等】

分科会	テーマ	助言者	参加者数
幼稚部 (AM)	主体的な活動における言葉を育てる指導の在り方	星槎大学 教授 原田 公人 氏	23名
小学部 (AM)	よく考え推論する力を育てる授業の在り方	東北福祉大学 教授 大西 孝志 氏	31名
中学部 (AM)	生徒が主体的に考える授業づくり	筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏	19名
高等部 (AM)	主体的に課題に向かう力を伸ばす授業づくり	筑波技術大学 准教授 脇中 起余子 氏	17名
寄宿舎 (AM)	第60回全日聾研青森大会に向けた検討会		24名
早期教育 (PM)	(I) 親子間の豊かなかかわりに対する支援の在り方～保護者の伴走者としての相談支援の在り方～ (II) 遊びを通してやりとりが深まる支援の在り方～幼児とのかかわり・幼児同士のかかわり～	山形県立村山特別支援学校 教諭 庄司 美千代 氏 (山形県立山形聾学校 前校長)	15名
教科教育1 (小学部) (PM)	自分の思いをことばで表現し、学んだことを生かし、豊かに生きる力を育むための授業の在り方	東北福祉大学 教授 大西 孝志 氏	24名
教科教育2 (中高等部) (PM)	(文系) 多様な生徒一人一人に合わせた対話的学習の在り方 (理系) 理系科目の学びを深め、生活に活かすために	筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏 筑波技術大学 准教授 脇中 起余子 氏	22名
自立活動 (PM)	(I) 一人一人の実態に応じた聴覚学習・発音発語学習の在り方 (II) 自分らしさ獲得のための障がい認識と自己実現に向けた取り組みについて	星槎大学 教授 原田 公人 氏	18名
重複障がい教育 (PM)	一人一人が生き生きと学習する姿を目指して	弘前大学教育学部 元教授 佐藤 紘昭 氏	19名
寄宿舎教育 (PM)	生きる力と豊かな心を育むための寄宿舎教育の在り方	宮城教育大学 教授 菅井 裕行 氏	26名

3 令和8年度の研究大会について

令和8年11月5日（木）・6日（金）に、全日本聾教育研究大会（青森大会）と併催する。公開授業・指定授業・授業研究分科会・研究協議分科会を行う予定である。